

情の景

富永隆一

粘液は膣の奥から滲み出て陰門の入口までをも濡らし、二つに分かれている肉の扉は今や粘ついて息づき、そのぬめりは夥しい滴となつて陰唇全体を覆い、その口唇さながらの洞穴は時に小さく、また時に大きく蠢いて早くも肉茎の侵入を受け入れるために蠕動を繰り返している。硬直して龟头を

剥き出しにした肉茎は陰門に近づくと、その尖端で二つの肉の扉を擦りつけ、いきなり挿入せずに夥しいぬめりを捏ね返し、陰唇と肉茎は粘液にまみれてお互いに粘つき、陰門はその刺戟に赤く充血して既に耐えられずに、またしても穴の奥から夥しい量の粘液を溢れさせる。そのようにして

再び溢れてきた粘液は、陰門を覆う恥毛にからみついて白く濁り、肉茎の亀頭が擦れるたびに泡立ち、肉と肉の押し合いによって淫らかな音を響かせ、その卑猥な音は次第に速度を高めていく。龟头が肉の裂け目に侵入していくと、小さな洞穴はみるみるうちに大きく引き裂かれて肉茎を

包み込み、肉と肉はびたりと重なり合つてお互いの皮膜を刺戟し、陰門は肉茎の挿入によって悦びにふるえ、小刻みにひくついてその呼吸を一段と速める。

肉茎は陰門の内部をその硬直した肉の塊で擦りつけて、既に龟头の小さな裂け目からはうっすらとした精液がわずかに滴つて膣壁から出ている粘液と混じり合っている。膣壁は弛緩と収縮を繰り返しながら、しきりに肉茎を奥へ奥へと

導き、子宮口へ届くようにと洞穴の内部をいっぱいに拡げ、そして肉茎を包み込んではまだ弛緩と収縮を繰り返す。膣の

粘膜は赤く充血して、肉茎が摩擦するたびに夥しい皺を寄せ、粘膜から滲み出てくる液体に包まれた肉茎はますますその動きを速くする。肉茎の激しい動きによって、膣口から粘液がはみ

出で、その淫らな液体は内腿へと滴り落ちて性器の下部をしとどに濡らし、結合している肉と肉はもはや粘液だらけになり、二つの肉の摩擦の音はいやがうえにも高まり、膣内の粘膜の充血は極度に達し、弛緩と収縮も大波

を繰り返している。その膣内の粘膜の収縮によって刺戟を与えられた肉茎は、その膨張も極度に達し、摩擦によって充血した肉茎の先、龟头の穴から勢いよく精液を迸らせた。精液は子宮口を目掛けて飛び散り、

それを受け入れるようにして子宮口が開閉を繰り返すと、膣内に小刻みに痙攣して肉茎を絞り、そして大きく収縮して精液を飲み込んだ。膣内で肉茎はだらしなく龟头を垂らし、それまでの膨張が嘘のように収縮し、粘液まみれになりながら陰門から出て行くと、膣内に溜っていた精液は濡れた肉の裂け目から溢れ、

一滴、二滴と溢れて白い内腿へと伝

い流れて行った。

星の密着

岩井 薫

